



ICTビジョン懇談会 基本戦略WG(第3回資料)

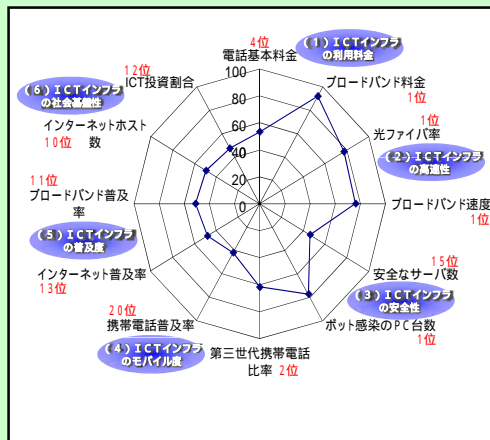
ICTビジョンの検討にあたって

2009.1.9.

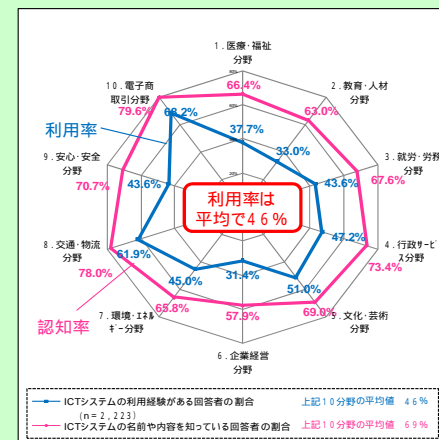
株式会社イプシ・マーケティング研究所
代表取締役社長 野原 佐和子

1. 明確で強いビジョンを打ち出し、リーダーシップ発揮

- 日本のICTは、インフラは世界トップクラスだが、利活用はテコ入れが必要
 - 情報提供分野、電子商取引、交通・物流分野等では利活用が進展
 - 行政サービス、医療・福祉、教育、安心・安全、企業経営等の分野では、利活用が低調



ICT基盤の評価に関する日本のレーダチャート



ICTシステムの利用率 (生活者調査)

企業が単独で実現、収益増加に直結する効果のわかりやすい領域で進展
 複数組織の連携、利害の異なる関係者、手続き方法や業務の流れの再構築、法制度・習慣の改革等、ICT以外に乗り越えるべき課題のある領域で進展に遅れ

- これからは、ネット社会を前提に法制度、業務の流れ、ビジネススキーム等を再構築し、より本質的なICT利活用フェーズに

1. 明確で強いビジョンを打ち出し、リーダーシップ発揮

- 本質的なICT利活用フェーズでは、複数組織の連携、利害の異なる関係者調整、手続き方法や業務の流れの再構築、法制度・慣習の改革等、ICT以外に乗り越えるべき課題がある
 - 各府省庁の管理業務の共通化・効率化
 - 国・自治体等組織横断的なサービス提供のワンストップ化
 - HER (Electronic Health Record)
 - 著作物のデジタルアーカイブ化 等々
- 目指すべき姿を多方面の関係者が共通理解することは困難
- 従来の仕組みと新しい仕組みが併存する期間を通過しなくてはならない



- 乗り越えていくために、「明確で、強いビジョンが極めて重要」
 - 明確なゴールイメージを提示することで、様々な関係者がそのイメージを共有しながら、ゴールに向かうことができる
 - 強いリーダーシップを発揮する推進者が必要
- **ゴールイメージ ; 「少子高齢化先進国としての未来型ICT社会」**

2. 日本のICTを積極的に評価 海外展開の支援

■ 日本発のICT利活用ビジネスを積極的に評価 海外へ発信・展開促進

➤ 成熟した消費者によって磨かれた日本発ICTサービスが多数存在

多機能ケータイ (imode、カメラ、絵文字、ワンセグ、防水、おサイフケータイ…)
ケータイコンテンツ (着メロ、着うた、モバゲー、魔法のiランド…)
ゲーム、ゲーム機



楽天市場

←ショッピングモール

Mixi

←SNS

ニコニコ動画

←YouTube

NABITIME

←乗換案内

大画面薄型デジタルTV
ブルーレイDVDレコーダー
カーナビ

アニメ、マンガ

ウォシュレット



3. 施策について

■ ネット社会に適した法制度の整備

- 他省庁関連の法制度整備について、積極的に働きかけを
 - 著作権法、薬事法、医療法、旅費法…
 - ネット社会に対する理解が不十分な状況で、法制度が検討されることも
- プロアクティブな法整備より、リアクティブな法整備

■ ICT利活用ビジネスの活性化及び積極的評価

- 新事業創出を促す施策
- ベンチャー企業への支援
 - 事業開発力、マーケティング力ある人材の育成支援
 - 事業開発、マーケティング分野での研究開発支援
 - ベンチャーへのノウハウ、資金力、人材に関する支援

■ ICTビジネスの海外展開力強化

- 海外展開の戦略立案及び展開のノウハウ提供
- 海外展開の戦略立案・事業展開人材のスキルセット整備・人材流動化促進
- 現地の法制度、商習慣等に関する情報提供・アドバイス 等